

資料 64:「写真撮影報告書」からガラス片

(添付資料の説明)

- 「資料 64」:「写真撮影報告書」添付写真にガラス片の散乱が確認された。またその位置は飯能署の主張する衝突地点と大きく矛盾することを示している。
- 「画像解析報告書」:「写真撮影報告書」添付写真の鮮明化と、路面とは明確に異なるガラス片の色（エメラルドグリーン）をデジタル的に抽出し、ガラス片の散乱状態を確認した。
- 実況見分調書（写真 9、11、12）の画像も同様の解析を試みたが、ガラス片と思われる物質は確認されなかった。

報告日：2009年3月18日

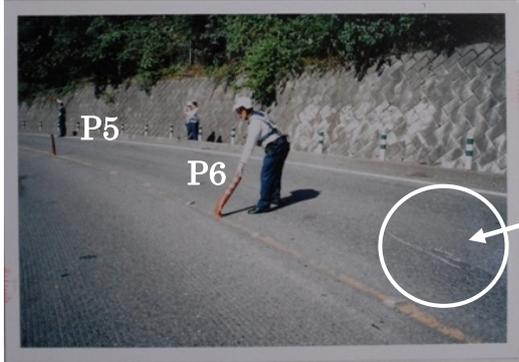
報告者：真砂 佳典

資料 64-1

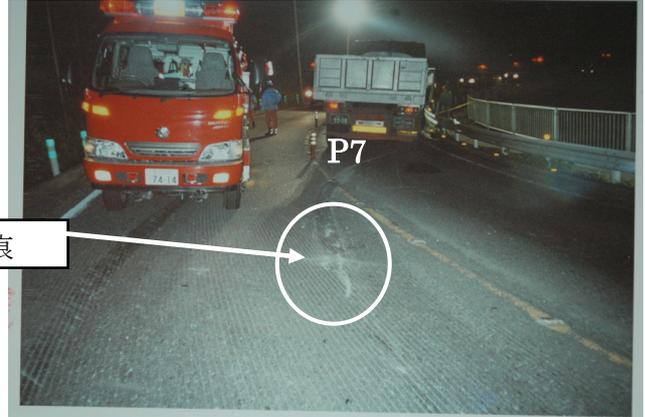
飯能署作成「写真撮影報告書」 P6 付近にガラス片が散乱-1

飯能署「写真撮影報告書」(H16.10.24 作成)
撮影日時:2004年10月2日 午前8:50~9:20
写真⑧・⑨・⑩ (記号等を追記)

飯能署「実況見分調書」(H16.12.3 作成)
撮影日時:2004年10月2日 午前3:30~5:05



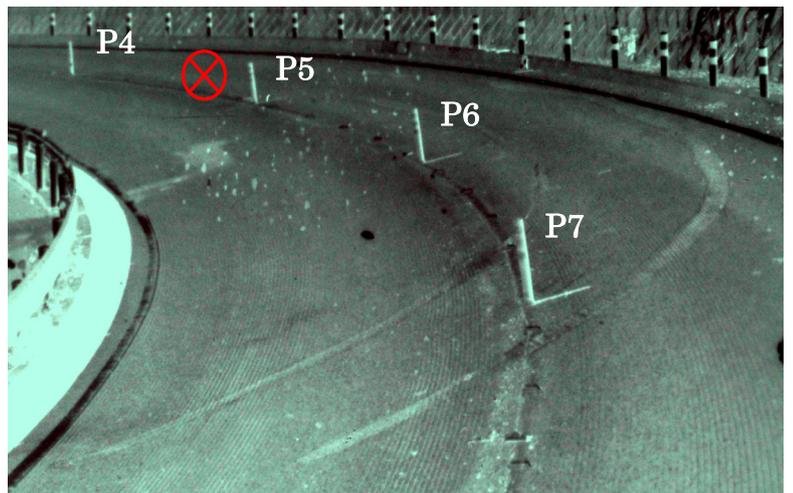
写真撮影報告書 写真⑧



実況見分調書 写真⑩ (記号等を追記)

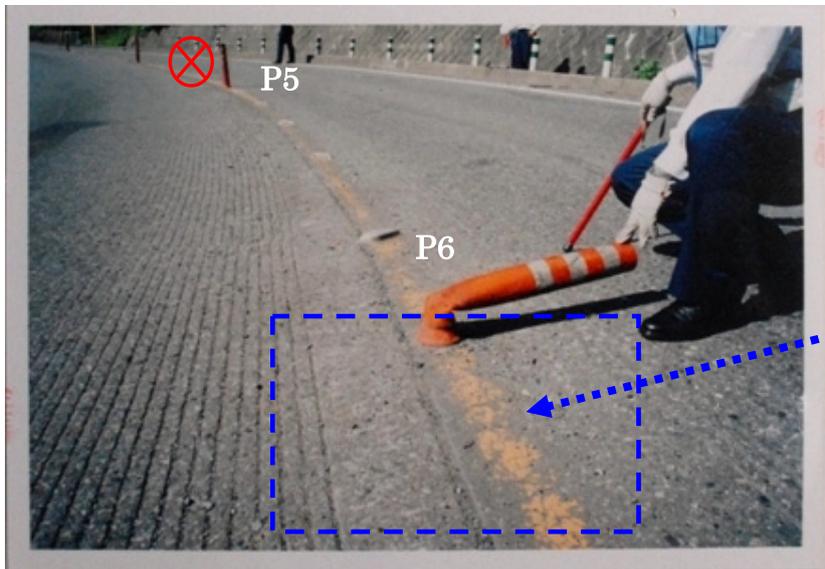


写真撮影報告書 写真⑨



実況見分調書 (現場図⑥ → から撮影)
⊗は警察の主張する衝突地点 (日中撮影時間不明)

(注)画像は添付写真の一部を拡大し記号を加えネガに変換した。



写真撮影報告書 写真⑩

ガラス片の確認位置

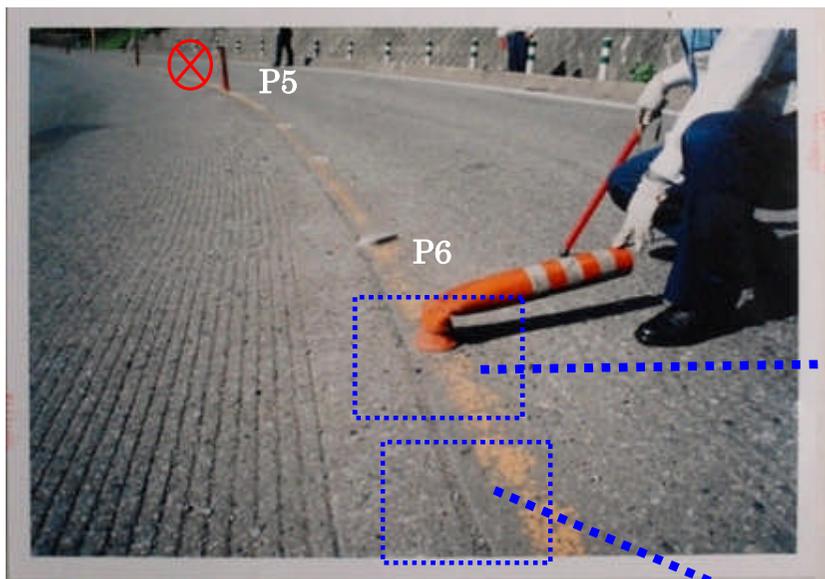
⊗から約14m地点

(P4~P7の説明)

カーブに設置された「ポストコーン」の秩父側からの通し番号を示す。

資料 64-2

写真撮影報告書 P6 付近にガラス片が散乱-2



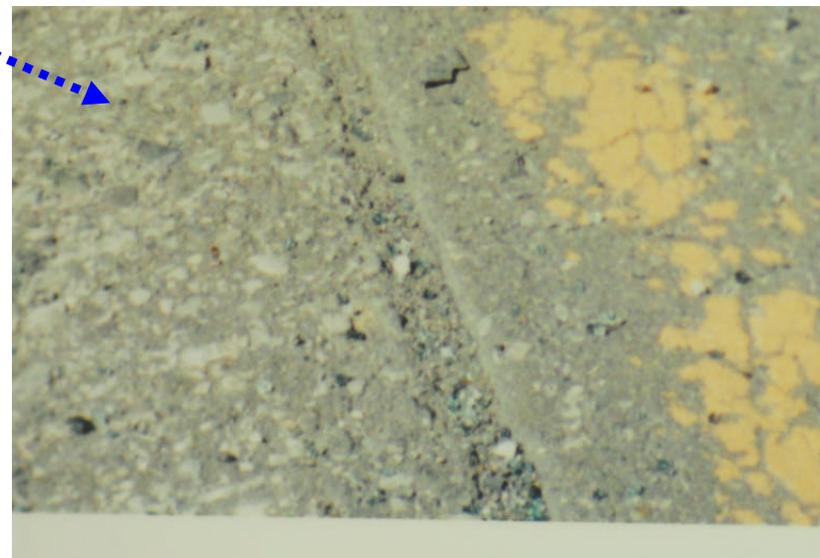
写真撮影報告書 写真⑩



DSC_4857.JPG

(説明)

- ・「写真撮影報告書」の撮影は事故当日の平成 16 年 10 月 2 日午前 8 時 50 分～9 時 20 分である。
- ・原告は既に平成 16 年 10 月 10 日・16 日撮影の画像から P7 から P6 付近（原告の主張する一次衝突・二次衝突の地点）に大量のガラス片を確認している。（「資料 57」）
- ・「写真撮影報告書」で確認されたガラス片は原告が指摘したガラス片の散乱地点とほぼ同一地点であり、警察の主張する衝突地点より約 14m 日高よりである。
- ・衝突地点を確定させる重大な証拠となる。
- ・ガラス片の散乱状態は画像解析で可能となった。別紙に画像解析の手法を添付した。



DSC_4857.JPG

DSC_4857.JPG ↓



DSC_4871.JPG ↓

